

実習内容
ならびに
スケジュール

脳神経外科

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	7:45	カンファレンス、オリエンテーション、手術見学	白川	7:45	1号館10階医局
	12:00	昼食			
	13:00	手術見学または症例検討	山田	13:00	
火	8:00	カンファレンス、顕微鏡による血管縫合	担当医	8:00	1号館10階医局
	12:00	昼食			
	13:00	症例検討	陰山	13:00	1号館10階医局
水	8:00	カンファレンス、手術見学または症例検討	立林	8:00	1号館10階医局
	12:00	昼食			
	13:00	症例検討	担当医	13:00	1号館10階医局
木	8:00	カンファレンス、手術見学または症例検討	阪本	8:00	1号館10階医局
	12:00	昼食			
	13:00	症例検討	金城	13:00	1号館10階医局
金	8:00	カンファレンス、回診、まとめ	内田	8:00	1号館10階医局
	12:00	昼食			
	13:00	まとめ	吉村	13:00	1号館10階医局

◎ 診療科名： 脳神経外科

◎ 責任者氏名： 吉村 紳一 教授

◎ 教育担当教員氏名： 白川 学 講師

◎ 実習概要

1.カンファランス、2.教授回診、3.病棟実習、4.クルズス、5.模擬実習（顕微鏡を用いた血管縫合）6.手術見学、7.その他各種検査・処置・治療の見学などを行い、脳神経外科領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

◎ 到達すべき学修成果（アウトカム）

- ・脳神経外科領域における主要疾患についてアセスメントができる。
- ・脳神経外科領域の患者の神経学的所見がとれる。
- ・治療計画を立てることができる。
- ・患者の立場に立った対応ができる。
- ・手術室における所作、清潔・不潔が身についている。
- ・英語を用いたケースプレゼンテーションができる。

◎ 卒業時アウトカムとの関連

Web シラバス「臨床実習のアウトカム評価」参照。

◎ 事前学修内容(時間)

- ・3年次の講義資料の主要疾患について復習すること（1日）
- ・脳神経外科教科書の主要疾患について読んでおくこと（3時間）
- ・脳、脊髄の解剖・生理につき復習しておくこと（3時間）

◎ 評価方法

（知識、技能、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をループリックで明示）。
例）評価の項目は自由に増やす。

	S	A	B	C
知識	代表的疾患について治療計画を説明できる。	代表的疾患についてアセスメントができる。	代表的疾患について概略を説明できる。	一部の疾患について理解している。
	診断に必要な画像を選択、説明できる。	示された画像につき説明できる。	疾患ごとの画像を理解している。	一部の疾患の画像診断ができる。
技術	疾患や画像所見を元にした神経学的所見がとれ、説明できる。	神経学的所見をとることができ、結果を説明できる。	神経学的所見をとり、部分的に評価できる。	神経学的所見の知識がある。
	手術室におけるガウンテクニックを実践でき、指導できる。	手術室におけるガウンテクニックを自分でできる。	手術室におけるガウンテクニックを補助の元に行える。	手術室におけるガウンテクニックの知識がある。
	英語でのケースプレゼンテーションを自分で作成し行う。(英語の上手さは問わない)	指導医と相談し、英語でのケースプレゼンテーションを行う。(英語の上手さは問わない)	指導医が作成した英文を理解しプレゼンテーションができる。(英語の上手さは問わない)	指導医が作成した英文をプレゼンテーションすることができる。(英語の上手さは問わない)
態度	チーム診療を理解し、チームの一員として診療・治療にあたる。	チーム診療を理解し、積極的に参加する。	チーム診療を理解するが、やや消極的。	チームによる診療の必要性が理解できる。
	実習の意義を理解し、積極的に参加する。	積極的に質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的。	消極的で質問がない。

◎ パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。

午前のカンファレンス中、担当した症例のプレゼンテーションを英語で行う。
金曜日、午前または午後 総括。

◎ 中間評価とフィードバック

一週間の実習のため中間評価は特に行わない。

◎ 注意事項

- 初日は7時45分に脳神経外科医局（1号館10階）に集合すること。
- 必ず教科書を持参すること。
- 毎朝8時からのカンファレンスと火・金曜日の教授回診に出席すること。